

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 5月 28日

事業所名： 放課後等デイサービスいじゅの木あらかわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	4	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		事業所内はバリアフリーとなっている。	事業所周辺（敷地内）に段差がある部分があるので、対策を検討・実施してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1			詳細なご意見を多く頂けるよう、アンケートの実施方法を今後検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		毎年度ホームページにて公表している。	公表していることを職員に再度周知徹底します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2			R5年度は未実施な状況であるが、組織全体として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		研修案内を職員へ周知・共有し参加を呼びかけている。	今後も積極的な研修参加ができるよう、情報共有、意欲喚起を行ってまいります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		休日など利用時間が長い場合は事前に準備するなど工夫している。	利用者さまや保護者とコミュニケーションをとり、今後も個々のニーズに合った支援に取り組んまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		終業開始後、職員全体での共有を実施している。	職員全体での情報共有、打ち合わせを行っているが非常勤（パート）職員との共有が不十分なケースがあった。非常勤職員の会議参加など改善策を検討してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2			時間の都合等もあり、必ずしも実施されていない。書面を利用したり、翌日共有するなど改善しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					R5年度対象者はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている					R5年度対象者はいません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			随時、移行先の事業所との情報共有を行っている。	実習先、進路予定先の就労支援事業所等との情報共有を継続してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3			現在、研修等の機会が少ないが、今後は情報収集し積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2		R6年度は地域の情報を収集し、交流や活動の機会を設けます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3			情報収集を行い。機会があれば参加をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		モニタリングや日々の送迎時に保護者への助言を行っている。	状況に応じて相談、助言を継続してまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		モニタリングや日々の送迎時に保護者への助言を行っている。	今後も相談、支援能力向上に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			R5年度は保護者参加行事（遠足、卒業を祝う会等）を実施。	今後は保護者さまの意向も確認しながら、実施を継続していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		地域の自治会や事業所と合同でハロウィン行事等を実施。	今後も地域の自治会・事業所と合同で行う行事等を企画・実施してまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1			保護者からの情報を元に対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				